

# このほんしってる？

3・4年生

ここに紹介した本は、図書館にあります。

読みたい本がみつかったら、厚木シティプラザ3階

こどもの本のフロア、依知北・睦合北・小鮎・荻野・

森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利の公民館に来て

ください。移動図書館「わかあゆ号」でも借りられます。

本は、ひとり10冊、2週間まで借りられます。

読みたい本が貸出中のときは、予約をしてください。

2020年

厚木市マスコットキャラクター  
あゆ号



## 3・4年生 よみもの

### 『おれからもうひとりのぼくへ』

相川 郁恵／作 佐藤 真紀子／絵 岩崎書店

友だちと遊ぶ約束におくれそうだったおれは、勢いよく自転車のペダルをふんだ。とつぜん、目の前に、おれにそっくりの男の子が乗った自転車が現れ、ぶつかりそうになった。でも、つぎの瞬間、おれはひとりで、つっ立ってたんだ。そのときから、おれのまわりの、友だち、家族、学校のように、何か変わりはじめた。



### 『学校へ行こう ちゃんとりん』

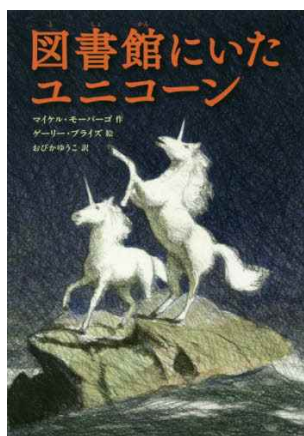
いとう ひろし／作 理論社

ちゃんとりんは、毎日いっしょに学校に行きます。いつも、いろんなことをはなしながら行きます。今日も、「ユーフォーがやってきて、ゆうかいされないかしら」、「大きなじけんにまきこまれないかな…」など、あれこれをはなししているうちに学校につきました。が、教室にはだれもいません。なんで、じけんかしら…？



## 『シランカッタの町で』

さえぐさ ひろこ/作 にしむら あつこ/絵 フレーベル館  
ぼくは、よだ かずき。小学三年生で、あだ名は「よわっち」。通  
っていた幼稚園ようちえんのバザーに行ったら、ふしぎなおばあさんがいた。  
おばあさんにすすめられて、万華鏡まんげきょうをのぞいたらすいこまれてし  
まった。気がついたら「シランカッタ」という見知らぬ町にいた。  
おどろくぼくの前にいたのは、キズカという名前の女の子だった。

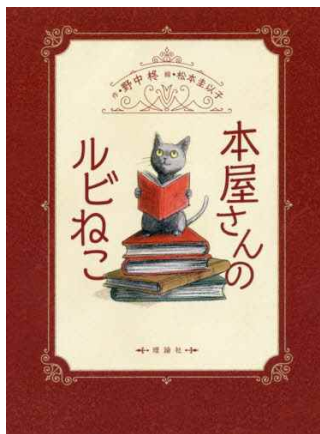


## 『図書館にいたユニコーン』 マイケル・モーパゴ/作 ゲリー・ブライズ/絵 おびか ゆうこ/訳 徳間書店

むりやり図書館としょかんへ連れて行かれた ぼくは、木のユニコーンの  
そばで、物語ものがたりを聞いた。お話会がおもしろくて、図書館としょかんに通う  
ようになり、本がすきになった。ところが、村に戦争せんそうがやってき  
た。爆撃ばくげきを受けた村の建物たてものは焼け、図書館としょかんにも火が。村人たちが  
したことは、図書館としょかんから本をはこびだし、救すくうことだった。

## 『ハートウッドホテル 1 ねずみのモナと秘密のドア』 ケイリー・ジョージ/作 久保 陽子/訳 高橋 和枝/絵 童心社

ネズミのモナは、小さなころに家をなくし、ひとりで生きてき  
ました。ある嵐あらしの夜、オオカミにおわれ、川ながに流されてたどり  
ついた、大きな木。幹みきに彫ほられたハートに手をふれると、秘密ひみつの  
ドアがひらいたのです。ドアの中は、すてきなホテル。モナは、  
そこで、メイドとしてはたらくことになりました。



## 『本屋さんのルビねこ』

野中 柊/作 松本 圭以子/絵 理論社  
本屋さんの、本だなの間につもったほこりから生まれたねこが  
いました。名前は「ルビ」。ルビはかんばんねことなり、本屋さんほんや  
に来る人が、読みたい本にであえますようにとねがっていました。  
ある時、タイトルもわからないけど本をさがしているという人が  
あらわれ、ルビは、本をさがすおてつだいをしようと考えます。

## 3・4年生 しらべる・あそび

### 『イチからつくるポテトチップス (イチは、いのちのはじまり)』

岩井 菊之／編 中谷 靖彦／絵 農山漁村文化協会

みんな大好きなポテトチップスには、うす塩味、コンソメ味、青のり味など、たくさんのしゅるいがあります。でも、きょうつうして使われているのは、ジャガイモと油と塩の3つのです。そこで自分たちでポテトチップス作りにちょうせんしてみませんか。ジャガイモは作れそうだけど油と塩って作れるのかな…。



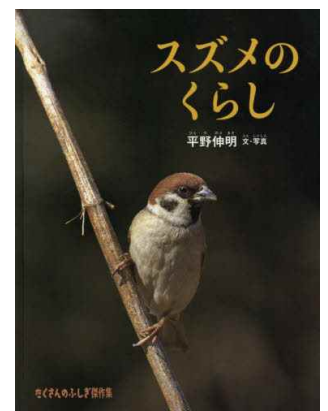
### 『すごいぞ! ニッポン美術 (直感こども美術館)』

結城 昌子／文 西村書店

「ニッポンならではの心」をあらわす作品が、紹介されています。円山応挙の3びきの子犬の絵は、江戸時代に描かれたとは思えない、「もふもふ」感が、たまりません。どのページから見てもOKです。お気に入りの作品を見つけましょう。

### 『スズメのくらし』 平野 伸明／文・写真 福音館書店

スズメは、家のまわりなどで、よく目にする鳥です。小さくまるまるしていて、「チュンチュン」となく、声がかわいい鳥です。みぢかな鳥ですが、どこにすを作り、どのように身をまもっているのか、よく知らないのではないのでしょうか。スズメのくらしをのぞいてみましょう。



### 『たのしいローマ数字』 デビッド・A. アドラー／文

エドワード・ミラー／絵 千葉 茂樹／訳 光村教育図書

みんなが使っている数字「1」「2」「3」、これは、アラビア数字と言います。それでは、「I」「II」「III」、これはなんでしょう。アラビア数字よりも古くからある「ローマ数字」です。今でも、時計の数字などに使われています。ちょっとむずかしいけど、使えたら、たぶんかっこいい。ローマ数字を覚えてみよう。

# 『ミツバチだいすき ぼくのおじさんはようほう家』

藤原 由美子/文 安井 寿磨子/絵 福音館書店

ミツバチを飼<sup>か</sup>い、はちみつをとる「ようほう家」のおじさんのうちに行ったぼく。ミツバチが、どんなふう<sup>か</sup>にみつをはこんできて、おいしいはちみつができるのか。ミツバチの巣箱<sup>すばこ</sup>の中は、どんなふう<sup>か</sup>になっているのか。「はたらきバチ」の仕事<sup>しごと</sup>は？ おじさんから色々<sup>いろいろ</sup>なことを教わります。



# 『わたしたちのたねまき たねをめぐるいのちたちのおはなし』

キャスリン・O. ガルブレイス/作 ウェンディ・アンダスン・ハルパリン/絵 梨木 香歩/訳 のら書店

たねをまくのは、人間だけではありません。風や雨、たいようや動物、植物も、地球という広くて大きな庭<sup>にわ</sup>に、たねまきをしています。みんなが、どんなふう<sup>か</sup>にたねをまき、育て<sup>そだ</sup>ているのか、美しい絵を見ながら想像<sup>そうぞう</sup>してみてください。

## \*中央図書館 3階 こどもの本のフロアのご案内

### 3階の開いている時間

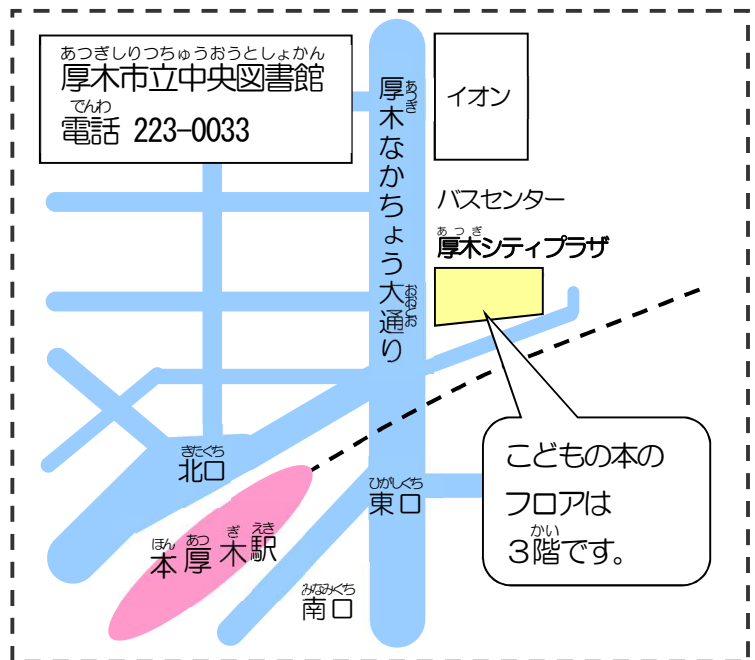
午前9時から午後5時まで

### お休みの日

施設保守日

年末年始

本の整理のとき ほか



図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。